

キッツビューエル市民訪問団の来形について

1. 来形の目的

山形市とオーストリア共和国のキッツビューエル市が、1963年（昭和38年）2月17日に姉妹都市の盟約を締結して、今年で55周年目を迎える。

これを記念し、キッツビューエル市民16名からなる市民訪問団が、9月3日から9月5日までの期間において来形する。

《訪問団の主なメンバーについて》

○クリスティン・エクセンバーガー氏

訪問団団長、平成25年に行われた姉妹都市締結50周年記念の市民訪問団として来形している。

○アルノ・クリエン氏

平成29年3月に来形し、その際市長を表敬訪問している。また、平成25年に行われた姉妹都市締結50周年記念の市民訪問団として来形している。

○ヴォルフガング・ラーベンバッハー氏

新潟県上越市の姉妹都市であるオーストリアのリリエンフェルト市市長だが、今回はアルノ氏の友人という立場での参加

2. 来形時の主なスケジュール

3日（月）	午後	山形駅到着 蔵王観光（トニー・ザイラー顕彰碑訪問）
	夕方	山形キッツビューエルクラブ主催歓迎会（ホテル樹林）
4日（火）	午前	山形市野草園散策（キッツビューエルの庭見学）
	午後	山形市長表敬 山形市議会議長表敬
		山寺観光
	夕方	山形市主催歓迎夕食会（ホテルメトロポリタン山形）
5日（水）	午前	山形駅出発

3. オーストリア共和国キッツビューエル市の概要

チロル州にある都市。ウィンタースポーツが盛んな避暑地として有名。人口約8千人。公用語はドイツ語。時差－8時間

4. 盟約締結の経緯

昭和35年に「銀嶺の王者（松竹）」の映画撮影のために来形したトニー・ザイラー氏や、蔵王スキースクールで教えるために来形したフランツ・デルブル氏がきっかけとなり、両市の交流が深まった。その後、駐在オーストリア大使ハートルマイヤー氏のはからいで、姉妹都市の盟約を結ぶこととなった。

5. 近年の交流状況

H19～20 国際蔵王ジャンプ大会にキッツビューエル出身のコーチが参加

H24 山形市議会議員6人がキッツビューエル市を訪問

H25 姉妹都市締結50周年を記念し、キッツビューエル市より訪問団が来形

H26 姉妹都市締結50周年を記念し、山形市から訪問団38名を派遣

平成30年度山形市総合防災訓練について

1 目的

この訓練は、国の総合防災訓練大綱及び山形市地域防災計画に基づき、山形市が実施する総合的な防災訓練であり、災害発生時に市や防災会議構成機関等及び自主防災組織等が実施する応急対策の確認・検証を行うとともに、市民の防災意識の高揚を図ることを目的に実施いたします。

2 実施日

平成30年9月1日（土）

3 訓練構成、時間及び場所

(1) 【1部訓練】東小学校市避難所開設運営訓練

時間：午前9時～午前11時 《本部長(市長)観閲 9:00～9:20》

場所：東小学校 体育館、多目的ホール

(2) 【2部訓練】総合訓練

時間：午前9時30分～午前11時30分《本部長(市長)観閲 9:30～11:30》

場所：山形市総合スポーツセンター第5駐車場

4 訓練参加者（約1,200人）

(1) 自主防災組織

千歳地区（約100人）、その他地区（約800人）

22自主防災組織等×5人程度

(2) 公共機関等（約100人）

国土交通省山形河川国道事務所、陸上自衛隊第6師団第20普通科連隊、山形県消防防災航空隊、山形警察署、日本赤十字社山形県支部、山形DMAT ほか

(3) ライフライン関係機関（約80人）

東北電力株式会社山形電力センター、N T T東日本株式会社山形支店、株式会社ドコモC S東北山形支店、山形ガス株式会社、山形県L Pガス防災協会 ほか

(4) 災害時応援協定都市

宮城県加美郡加美町

(5) 仙山交流

宮城県仙台市

(6) 災害時応援協定団体等（約50人）

(7) 山形市職員（約100人）

5 訓練（被害）想定

平成30年9月1日（土）午前8時30分、山形盆地断層帯を震源域とするマグニチュード7.8と推定される地震が発生し、山形市内で震度6強を観測。

この地震により、市内全域で多数の人的被害及び物的被害等が生じており、特に市北部では、家屋が倒壊し多数の負傷者が出たほか、電気、通信、水道等のライフラインに甚大な被害が発生し、市避難所には多数の住民が避難している。

6 主な訓練項目

構 成		訓練項目	訓練場所	訓練者
1 部訓練 東小学校市避難所の 開設・運営訓練 9:00～11:00		市避難所開設・運営訓練	東小学校 体育館、 多目的ホール	東小学校市避難所 運営委員会、東小学 校に避難する自主 防災組織、東北カー トン株式会社、隊友 会山形支部
		情報収集伝達訓練		
		避難誘導訓練 (要支援者対応を含む)		
		物資搬入訓練		
		炊き出し訓練		
2 部訓練 総合訓練 9:30 ～ 11:45	応 急 対 策 訓 練	情報収集伝達訓練	山形市総合ス ポーツセンタ ー 第5駐車場	千歳地区の自主防 災組織、消防団、公 共機関、ライフライ ン関係機関、災害時 応援協定団体等
		道路障害物排除訓練		
		自主防災組織及び消防団救助活 動連携訓練		
		倒壊家屋からの救助訓練		
		消防活動連携放水訓練		
		医療救護訓練		
		ライフライン応急対応訓練		
		協定都市緊急物資受渡し訓練		
	情報発信訓練			
	体 験 ・ 展 示	炊き出し訓練		
		LPガス供給訓練		
		災害用伝言ダイヤル体験		
		災害用伝言板使用体験		
		消防団防災学習車展示		
		救急講習		
		煙体験訓練		
		初期消火訓練		
		公共機関等展示		
		災害時応援協定団体等展示		
		応急給水展示		
公助備蓄物資展示				

7 訓練の中止

大雨、暴風、洪水等の気象警報が発表されるなど、災害が発生するおそれがある場合は訓練を中止いたします。

中止の場合は、山形コミュニティ放送（FM76.2MHz）において午前7時と午前8時に告知するほか、市ホームページ、報道機関等を通じて市民へ周知するとともに、訓練参加機関へ連絡を行います。

問い合わせ先

総務部防災対策課 地域防災係

Tel.023-641-1212 内380～382

平成30年度「秋の一斉清掃」の実施について

1 目的

清掃の実施により、生活環境の浄化と地域住民の清掃意識の高揚を図り、住みよい美しい街づくりを進めるようとするものです。

2 内容

- (1) 共 催 山形市環境保健推進協議会
- (2) 実施区域 山形市全域
- (3) 実施日時 平成30年9月9日（日） 午前6時～午前8時
※小雨実施、大雨時は各地区において判断とします。
- (4) 清掃内容 道路沿線など町内で定めた場所のごみ拾いや草刈り等の清掃を行います。
秋の一斉清掃において、道路側溝の土砂上げは実施しません。
※山形市では春と秋に一斉清掃を実施しておりますが、土砂上げは春の一斉清掃時に実施しています。

3 ごみの処理方法

- (1) 清掃により集めたごみは、それぞれの分別区分ごとに「ボランティアごみ袋」に入れて各地域の収集曜日に合わせて、決められた時間内にごみ集積所に出してください。
※ボランティアごみ袋は、事前に各地区に配布しております。
- (2) 町内に不法に投棄された集積所に出せないごみ(粗大ごみ・処理困難物)については、生活の妨げにならない所にまとめ、各地区環境保健推進協議会会長が、一斉清掃等の不法投棄ごみ収集処分依頼書を市に提出してください。

4 その他

- (1) 市において、秋の一斉清掃では全参加者を対象に傷害保険に加入しています。
ケガ等あった場合は、ごみ減量推進課までご連絡ください。
- (2) 報道機関の皆様には、実施日の取材及び事前告知について、お力添えを賜りますようお願いいたします。